

ふれあい

2014

4

No.325

牛久愛和総合病院 広報誌



「河津桜」撮影：看護部 青沼肇子

「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長 ^{たねだ よしろう} 種子田 吉郎



本年2月、高齢者数がピークとなる2025年（平成37年）に向けて、平成26年度診療報酬改定の概要が示されました。

今次診療報酬改定は、医療提供体制の再構築、地域で医療及び介護をシームレスに提供できるための地域包括ケアシステムの構築、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等を主な目的としており、将来に向け大きく舵が取られました。

医療環境がドラスティックに変わろうとするこの春、新緑とともに「牛久愛和総合病院」47名、「介護老人保健施設 春秋園」4名、グループ全体では135名のフレッシュな新入職員を迎える事になりました。一人一人がプロフェッショナルとして成長すること及び今後の活躍に期待しております。

私ども「常仁会グループ」は「牛久愛和総合病院」を中核施設とし、全国規模で医療及び介護施設を展開している病院グループです。現在、牛久市、新潟市、高知市、北九州市、宮崎市において13施設（病院7、介護老人保健施設5、有床診療所1）、医療・介護のトータルベッド数2,330床の規模で施設を運営・経営し、より良質な医療と介護サービスの充実を目指しております。

「牛久愛和総合病院」では昨年11月に、約2年半に及ぶ既設A・B館改修工事、新棟C館新築（H24・8月竣工）及びC館付属棟増築工事が完了し、入院及び外来診療機能の充実を具現化致しました。今年度は、さらなる診療機能充実のため外来化学療法、免疫細胞療法など、がん治療の強化を推進して参ります。

また（仮称）社会福祉法人関東マリア会を創立、病院敷地内に「特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久」（ユニット

型／定員80名内ショート10名）の建築計画を策定、平成27年春の開設に向け準備を進めております。

今後の超高齢化社会に向け、医療及び介護サービスを包括的に提供していくため、地域の医療機関等との連携を強化し、地域の皆様が住み慣れた地域で、自分らしい尊厳に満ちた暮らしを続けることが出来ることに貢献できるよう、取り組んで参ります。

弊会理念である「急性期医療」「予防医療」「高齢者医療」の3つの柱を通じて、最先端かつ安全な医療を提供することを理念に、牛久市を中心とした県南地域の中核的病院として、更に皆様に選ばれ信頼される病院を目指してまいります。今後とも職員一同、それぞれが役割を果たし、地域の皆様の大きな期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

病院で働く人(職種紹介) 9

コンシェルジュ

医事企画部

青山 穂渚
大島 侑紀

今月は当院の「コンシェルジュ」についてです。まずは「コンシェルジュ」とは一体どんな職員なのかを簡単に説明していきます。

さて、皆さんは初めて病院に来た時、どんなことに對して不安を感じるでしょうか？例えば、受付の仕方がわからない、自分がどの科にかければ良いのかわからない、でもみんな忙しそうに誰に話しかければ良いのかもわからないなど。わからないことばかりで、診察室に辿り着くまでにたくさんの壁を感じてしまい、それが病院全体に對する「不安」に繋がってしまったのではないのでしょうか。

私たちコンシェルジュは、そんな患者さんの「不安」を少しでも解消したいという想いから誕生した職員です。患者さんとの関わり方は、受付方法のご案内や検査室までの誘導といった

総合案内的なものから、体調が急変してしまった患者さんへのフォロー、車イスの方や高齢の患者さんへの付添いといった、一歩踏み込んだものまで様々。

看護師でも事務でもない、患者さんと同じ立場になって考え、一緒に「不安」を解決できるよう院内を動き回っています。

患者さんが何を必要としているかを一番に考え、受診後に気持ちよく病院を出られるように見届けるのが私たちの役目だと思っています。次もこの病院を利用したいと感じて頂けるよう、患者さんに親近感を持ってもらえるよう、「心配り・目配り・心配り」に努めていきますので、何かお困りの際は遠慮なくお声掛けください。



『第45回』生活習慣病教室

テーマ

「脂肪肝のおはなし」

日時 5月22日(木)

14時30分から約一時間

講師

消化器内科

宮原 直樹医師

会場

牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参加費 無料

今回は、「脂肪肝」についてのお話です。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課
電話

029-873-3111(代)

DMカフェ



糖尿病専門医

糖尿病看護認定看護師

河邊 聡子
栗山 千絵

吹く風に春を感じる季節となりました。八重桜も咲き、見ごろを迎えています。

一つ一つの食材を多量にとることはお勧めできません。なにごとも適量を目指しましょう。



〈糖尿病教室のご案内〉

5月14日

糖尿病の合併症について

5月21日

コレステロールのお話

5月28日

糖尿病のくすり

14時30分から「からだ情報館」にて行います。予約不要、参加無料です。お気軽にお越しください。

ワンポイントアドバイス

たけのこが食卓に並ぶ時期となりました。皮をむいたり下ゆでしたりと、いろいろと手間がかかる食材ですが、食物繊維が豊富に含まれています。食物繊維の1日あたりの摂取基準は、成人男性20g、女性18gです。食物繊維をとることで、食後の血糖の吸収を緩やかにしたり、よく噛むことで満腹感を得ることができお腹が空きにくくなるなどの効果が期待できます。生野菜を沢山食べることは、なかなか難しいですが、加熱すれば量が減るため沢山食べられます。キノコや海藻と組み合わせると良いでしょう。だからとい



春秋園だより



去る三月下旬に訪れた陽気の麗らかな日、春秋園の正面駐車場沿いに立っている梅の木を近くで観ようと、三階利用者様御一行、急遽お散歩に出掛けることになりました。四月がもう目前でしたが今年は気候の関係で開花時期がずれ込んだため、この日の梅は丁度見頃の咲き具合でした。(水戸の偕楽園や筑波山の梅まつりでも、今年は催し物やライトアップの期間などが延長されたそうです)

大きく広がった枝に咲ほこつた沢山の花を間近に、「綺麗ねえ」「梅の香りがするわ」と利用者様。しばし観覧のひととき。この日は風も穏やかで、皆様は目、鼻だけでなく全身でその場の雰囲気を感じわおうとされているように見えました。

そのうちに利用者様からは、御自宅の梅の木から採れた実で梅干しや梅酒を作った時のこと等、思い出話が聞こえてきました。また、目の前の梅の木の後ろに竹が生えていることから、竹や筍、筍ご飯のお話になったり、話題も色々膨らんで、利用者様間の歓談にも花が咲いていました。

そうして皆様のいつもより華やいた表情を目にしながら、その場をあとにしたのでした。園に戻った後はオヤツの時間となりましたが、「お花見の後のお菓子は、いつもより美味しいわ」なんて声も聞かれて、またニッコリ。

四月には益々春らしく、桜のお花見に行つてきます！
(春秋園入所スタッフ一同)

ここが知りたい!

Q & A コーナー

Q コレステロールや血圧が正常値に戻ったら薬をやめてもよいのでしょうか?

A お薬の中には症状がおさまればやめてよい薬もありますが(例えば咳止めや便秘薬や睡眠薬等)、基本的には服用をやめてしまうとせっかく正常値に戻ったのに再び数値が高くなってしまう可能性が高くなります。また、ご自分の判断で勝手にやめてしまうとかえって前より悪化してしまう場合もあります。医師がやめていいと判断した時以外は必ず服用を続けるようにして下さい。また、お薬を服用してさえいけば食事や運動は気にしなくても良いと思われている方もいらつしやると思いますが、これではせっかくお薬を服用していても期待した効果が得られないばかりでなく、お薬の量が増えてしまうこともあります。日々の規則正しい生活も健康に保つ秘訣です。正

しくお薬を服用して頂きたいと思ひます。
(薬剤センター主任 高田)

Q 酔で身体が柔らかくなるって本当ですか?

A お酔には、健康増進、抗菌防腐作用など様々な効果があります。残念ながら実際にお酔を飲んで身体が柔らかくなるという科学的データはないそうです。

しかし昔から、お酔は身体を柔らかくするといわれているのはなぜでしょう。

お酔に含まれる酢酸は体内でクエン酸に変わり、疲労で硬くなった筋肉の血行を良くしコリを減らす効果があります。もともと持っている柔軟性を回復させるという意味では柔らかくなるといえるのでしょうか。身体が柔らかくなるか否かは抜きに、健康維持を目的として積極的にとりいれて欲しい食材のひとつです。
(栄養センター科長 後藤)

入 職 者

3月3日付

■看護部

看護師 吉満 幸恵

患者様一人一人と向き合っていけたらと思っています。

3月16日付

■看護部

看護師 山田 ひとみ

4才と11ヶ月のおてんば娘が2人います。子供と遊んでいる時が一番楽しいです。

■人事部

滝田 和也

目標を高く志して、一日も早く先輩方に追いつけるように努力してまいります。

3月17日付

■看護部

看護師 衣笠 紗織

何事にも前向きに一生懸命取り組み、一日でも早く業務を覚える為仕事に真摯に向き合います。

春秋園

3月1日付

■ケアサービス部

介護員 三田 ひかる

利用者様の笑顔を大切に、より良いケアを目指します。
血液型：O型 趣味：ドライブ

《出来事ピックアップ》

医療安全講習会

3/4

今回、3月4日に行われた研修は、平成25年度の追加補習として実施いたしました。全職員を対象としての研修は既に3回終了していましたが、仕事の都合上当日に参加できなかった職員を対象に外部講師をお招きして実施いたしました。内容は12月19日の研修と同様で、テーマは「医療安全管理・事故防止の危機管理」についてです。針刺し、切創事故対策、転倒・転落予防対策、内服薬処方箋記載の在り方、用量・用法の確認方法、患者さん、家族への事故時の対応等職種を選ばず幅広くご講演頂きました。今後も知識、技術の向上につとめ医療事故「0」を目指して頑張りたいと思います。

(医療安全推進室)

卒園式

3/16

3月16日、春の穏やかな陽ざしに包まれた子ども達がマリア・ナーサリーを巣立ちました。第一部式典では、自分の名前を呼ばれると、どの子どもも大き

な声で返事をし卒園証書を堂々と受け取っていました。第二部はリズムです。今まで一生懸命取り組んできたものを、楽しそうにのびのびと行うことが出来ました。最後の「大わし」のリズムでは、一人一人お母さんの目の前で翼を広げて大空に飛びたちました。

今年は、三年ぶりに茶話会も再開する事が出来、卒園児と保護者の皆様方と、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

(小田木)



編集だより

暖かい日が増えてきた今日このごろ、いかがお過ごしでしょうか？寒暖の差が激しい時期ですので、体調を崩さないようお気をつけて下さい。

(M・T)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、足の外科)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 常仁会

 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地

Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031

ホームページ <http://www.joinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

